

児童発達支援自己評価表

ハッピー天六駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・個別に合った部屋もあるが、他の訓練室は2-5人入っても大丈夫なスペースあり。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	・職員配置の基準はクリアできているが、基準人員配置は余裕がない日もある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		・支援を行う部屋は必要最低限の掲示物のみ置くようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		・コロナ感染予防も含め、毎時間玩具の消毒を行っている。 ・毎日掃除を行い、毎支援前に個人に合わせた空間に部屋を設定している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		・支援前や終礼時に目標の確認や振り返りを職員全体で行い、意見を出し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		・事業所全体としてのできていること問題点を客観的な意見を参考にし解決するように努力している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	・昨年度開所の事業所のため、今年度から実施予定。結果にもとづいて内容の改善に取り組んでいく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	・内部監査の実施にて業務改善の機会としている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		・全職員が各種研修に参加しているとともに業務改善プログラムを取り入れている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		・時間をしっかり確保し、ニーズに対するより良い計画が立てられるようにしている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		・アセスメントシートは会社で統一した書式で運用し、年齢に合わせたものを使用し聞き取りを行っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		・発達検査の結果や外部連携を行うことにより、園やその他事業所等の教室外の情報なども加味して支援を提供している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		・支援の前に毎回、全職員が確認を行い、担当者との引継ぎを徹底している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		・教室オリジナルの教材などの工夫の共有や偏りが出ないよう、反応が良かった課題など共有して立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		・過去の記録などを参照し、常に進捗を確認している。また、固定化する際はねらいを持って、またあらゆる物への興味が広がるよう同じ教材でも違う提示を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		・見学時など契約前に説明を行い、個別・集団併用を促し計画を立案している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・当日の支援目標を共有し、担当者や前回担当とともに打ち合わせを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・記録として詳細を残すとともに特記事項などは終礼時に共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		・日々の支援について定められた形式で記録を作成し、同時に振り返ることで改善へとつなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		・モニタリング機会(時期)など確認しながら実施している。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		・担当者もしくは児発管が参画している。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		・計画相談のモニタリングや外部連携として情報共有している。	

児童発達支援自己評価表

ハッピー天六駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・利用状況報告書・引継ぎシートなどにて情報共有をし、おさまの状況や配慮の必要性について相違ない認識であることを確認している。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・保護者の希望を受けて、就学支援引継ぎシートを作成し、学校担当者と連携を行っている。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・モニタリング会議にて専門機関と連携している。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	・児童の交流はないが、園訪問にて機会を探っている。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8		・同区内のこども部会に参画している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・毎回の支援終了後、保護者とおさまの状況について話す時間を設け、現在の状況について共通認識を持つことができるように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	7	1	・本格的な支援という所では少し足りていないかもしれないが、面談をしたりと必要に応じて対応を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		・契約時や受給者証更新時にて実施している。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		・アセスメントにて聞き取った内容を基に前計画の評価と併せて、ニーズに合っているかどうか確認しながら説明をした上で同意をもらうように事業所全体で統一している。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・支援の振り返り時や事業所内相談支援の場で行っている。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	5	・集団FB時保護者同士の関わりはあるが開催ができていない為、希望に応じて今後検討予定。
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		・相談があった場合は、上長に相談の元、別室にて詳しく話を聞く対応をとっている。
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		・定期的にイベントを実施し、教室内掲示にて対応し、保護者に案内をしている。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		・利用前に同意書を得て、鍵つきの棚に入れている、使用時は周りの様子を見る等、扱いを徹底している。
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		・保護者の方から希望があれば別室で面談や視覚支援等個人に合わせた配慮の上、行っている。
非常時等の対応	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	・外部の方向けに毎月イベントを実施し、教室の状況を知ってもらう機会を作っている。
	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		・法的に定められた回数などルールに基づいて実施し、マニュアルは共有スペースにて開示している。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		・法的ルールに則り、年2回以上実施している。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		・契約前か、契約時に確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	・食物の提供はないが、利用前に状況把握を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		・ファイリングにて共有できるようにし、事例の振り返りも行っている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		・計画書への記載事例はないが、必要がある利用者に対しては事前に了解を得て記載予定としている。